

本時の目標： イスラーム帝国の形成と分裂について理解しよう。

### 東方イスラーム世界

#### (1) トルコ人の諸王朝

① トルコ人（遊牧民）の活躍・・・優秀な騎馬戦士⇒イスラーム世界の拡大に寄与

1 \_\_\_\_\_ : トルコ人奴隷・・・アッバース朝カリフが親衛隊に採用  
軍事力の中心に位置づける⇒イスラーム世界で一般化

② 2 \_\_\_\_\_ 朝（1038年～1194年）の台頭・・・中央アジアのトルコ人王朝

建国者：3 \_\_\_\_\_・・・4 \_\_\_\_\_ 朝を倒してバグダード入城（1055年）  
⇒アッバース朝カリフより、5 \_\_\_\_\_（支配者）の称号授与

6 \_\_\_\_\_ 派擁護・・・7 \_\_\_\_\_ 朝に対抗して神学・法学奨励

バグダード・イスファハーンなど主要都市に8 \_\_\_\_\_（学院）建設

ニザーミーヤ学院・・・イラン人宰相9 \_\_\_\_\_ に由来

アナトリア・シリア海岸地帯進出⇒ビザンツ領圧迫：10 \_\_\_\_\_ の原因

③ 11 \_\_\_\_\_ 朝（10世紀半ば～12世紀半ば頃）・・・東・西トルキスタンの併合  
⇒イスラーム文化導入

④ 12 \_\_\_\_\_ 朝 10世紀末、アフガニスタン⇒インド侵入開始

#### (2) モンゴル人の活動

① 13 \_\_\_\_\_ の率いるモンゴル軍の西アジア進出

1258年：14 \_\_\_\_\_ 占領⇒アッバース朝滅亡・・・カリフ制度は一旦消滅

イラン・イラク領有⇒15 \_\_\_\_\_ 国創始：エジプトのマムルーク朝と敵対

② 16 \_\_\_\_\_ の治世

イスラーム教17 \_\_\_\_\_・・・イスラーム式税制（地租中心）導入⇒農村復興に努力

イスラーム文化保護・・・18 \_\_\_\_\_ 文化の成熟

⇒19 \_\_\_\_\_・・・宰相20 \_\_\_\_\_ が著したユーラシア世界史

MEMO

バグダードからカイロへ

(1) 21 \_\_\_\_\_ 朝 (1169年~1250年)

① クルド人の22 \_\_\_\_\_ (サラフ=アッディーン) がエジプトに樹立

宗教: 23 \_\_\_\_\_ 朝を倒し、24 \_\_\_\_\_ 派信仰回復

軍事: 1187年: 十字軍から聖地25 \_\_\_\_\_ 奪回⇒第3回十字軍を撃退

② 歴代スルタン・・・トルコ人奴隷を購入してマムルーク軍団組織

(2) 26 \_\_\_\_\_ 朝 (1250年~1517年)・・・勢力が強大化したマムルーク軍団建国

第5代スルタン27 \_\_\_\_\_ の治世⇒イスラーム国家としての権威高揚

モンゴル軍撃退、アッバース朝のカリフをカイロに復活

メッカ・メディナの両聖都を保護下に治める。

(3) カイロの繁栄・・・アイユブ朝~マムルーク朝中期

① 農業の発展 小麦・大麦などの生産向上

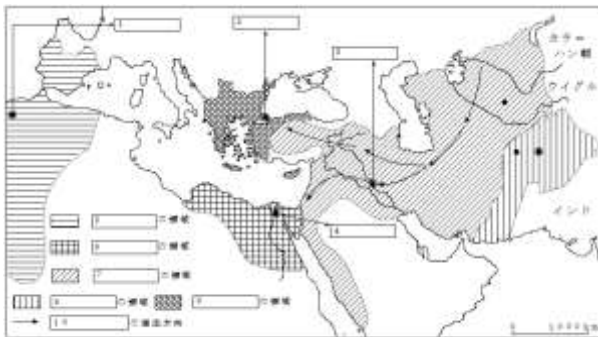
商品作物としての28 \_\_\_\_\_ 栽培が普及

② 地中海・インド洋交易を国家統制下におく⇒利潤を独占

取引物産・・・インド・東南アジア産の29 \_\_\_\_\_ ・エジプト産の砂糖

③ 首都: 30 \_\_\_\_\_ ・・・・イスラーム世界の政治・経済・文化の中心地として繁栄

⇒31 \_\_\_\_\_ 学院・・・スンナ派イスラーム教の信仰・研究の中心



11世紀後半のイスラーム世界

目標の達成度を5段階で評価しよう。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

○感想と疑問点を記述してください。